

精華環境プラットフォーム 事業者向け勉強会 SDG・脱炭素経営入門セミナー in 精華町 開催結果

1. 目的

SDGsの推進や脱炭素経営は、事業者の規模にかかわらず、喫緊の課題となっていることから、国内外の動向を共有し、地域の事業者が出来ることはどんなことか、考えるきっかけに入門セミナーを開催した。

2. 実施結果

○日 時：2月14日（水）15時～17時

○場 所：精華町役場201会議室

○参加者：8名（製造業、建設業、スポーツ施設運営、農業、精華町職員等）

○プログラム

- ・自己紹介
- ・講演：SDGs・脱炭素経営に向けて、今事業者に求められること

畑中直樹氏（ひょうご持続可能地域づくり機構（Hs0）代表理事／大阪大学大学院工学研究科招聘教員（環境・エネルギー工学専攻）／（株）地域計画建築研究所（アルパック）役員／精華町環境推進委員会委員）

- ・質疑

○実施の様子／今後に向けて

- ・国内外の動向等についてレクチャーを行った。
- ・今回は、入門セミナーということで国内外の概略について学ぶ場となった。引き続き、事業者への働きかけが必要である。
- ・具体的には、商工関係や地域の協議会等への働きかけ、連携した取り組みが重要である。
- ・
- ・また、町民向けのテーマに関する事業者の方（農家の方）などもいらっしゃることから、対象別でなく、テーマ別に事業者、町民、混ぜ合わせて実施していくことも考えられる。



精華環境プラットフォーム 市民向け意見交換会 精華町未来ミーティングー食・買い物・子どもー 開催結果

1. 目的

子ども達の未来のため、地域のすべての人が、地域の環境を守り・育てるまちづくりを実現するために、暮らしの中で実践できる取組や、団体同士連携可能な取り組みを考えることを目的として開催した。

2. 実施結果

○日 時：2月20日（火）14時～16時

○場 所：精華町役場502会議室

○参加者：12名

○プログラム

- ・自己紹介
- ・講演：気候変動と食・暮らしとの関係

畑中直樹氏（ひょうご持続可能地域づくり機構（Hs0）代表理事／大阪大学大学院工学研究科招聘教員（環境・エネルギー工学専攻）／（株）地域計画建築研究所（アルパック）役員／精華町環境推進委員会委員）

- ・質疑

○実施の様子／今後に向けて

- ・意見交換では、質疑とともに、活発な意見交換がなされた。
- ・関心として、“子どもたちにどのような環境を残せるか”“精華町の農業をどう残せるか”について関心が高く意見交換された。
- ・公共の役割とともに、地域や町民自身は何が出来るか、について議論を深めることが今後の課題となる。
- ・そのため、今後、既存事業等で、町民とともに考えたい、また取り組みたい具体的なテーマを検討し、投げかけることで具体的なアクションにつなげていくことができると考えられる。



○当日の意見交換内容

<参加者の関心>

- ・ 子どもが減っている。どう守れるか。
- ・ 子ども達にどういう風に環境を残せるか。
- ・ 免許返納と移動。
- ・ 精華町の記念誌を現在ボランティアで作成中。
- ・ みんなごみを気軽に捨てすぎているのではないか。気になる。
- ・ なぜ、身近な行動をなぜ変えられないのか（例えば明るいところで電気をつけるとか）。
- ・ 防災。
- ・ 農業。
- ・ 環境。
- ・ 日本は子どもを大事にしていない。
- ・ 食料自給。
- ・ 気候変動の農業漁業への影響。
- ・ 30年前と世の中がすごく変わっている。

<意見交換内容>

- ・ 地産地消は大事だと思うが、大変なのは、農業。猪、シカなど獣害が大変。
⇒狩猟免許もっていて、沢山とるが、販売の免許がない。
⇒カレーにしてレトルトや給食で、ジビエを提供できないか。
- ・ 精華町は、農業守って欲しい。農家が支えることはできないか。
- ・ 私たちの世代がリタイアしたら農業はなくなっていくと思う。
⇒若い人達が、農業で食っている環境が必要。
⇒地域でお米を高く流通させることは出来るか？皆さん買い支えることはできるか？
⇒地産地消、買える場所はあるか？
⇒お米に適した地域なのに、パン食が普及してしまっている。
- ・ 精華町の里山整備と生物多様性を関連づけられないか。
- ・ 地域の電子通貨の取り組みと地産地消の取り組みを連携できないか。